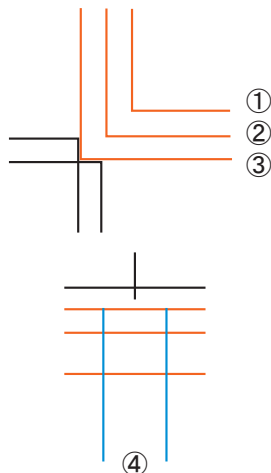


# テンプレート (ストリングPLUSソフトカバー) ご利用上の注意



- このデータ作成用テンプレートは表紙デザイン用です。本文デザイン用のデータではありません。
- 用紙の端までデザインをする場合は、1番外側の枠③までデータを作成してください。これは「塗り足し」と呼ばれる部分で、最終的には断裁されてしまいますが、この部分までデータをはみ出すよう作っておかないと、断裁時に印刷されていない部分が出てしまいます。実際の仕上がりの線は②の線です。
- 切れてしまうと都合が悪い部分(文字・ロゴなど)は、1番内側の枠①の中(仕上がりの3～5mm程度内側)に配置してください。この部分より外側に配置されているものは断裁時に切れてしまう可能性があります。
- PDFに変換する場合はトンボ部分が表示されるようにしてください。
- ストリングPLUSソフトカバーのテンプレートの背表紙の厚みは、標準のページ数を想定したものです(80ページ・40枚)。

頁数	用紙枚数	束幅目安	備考
80頁	40枚	4mm	基本仕様
120頁	60枚	6mm	オプション「 <u>本文ページ数追加</u> 」のご利用が必要です。
160頁	80枚	8mm	オプション「 <u>本文ページ数追加</u> 」のご利用が必要です。

※束幅のサイズ(mm)はページ数÷20で算出できます。

## ◆変更の手順

1. レイヤーパレットを開きます。
2. [ガイド]レイヤーのロックを外し、レイヤー内のガイド“<束幅>”を選択します。
3. 変形パレットを開きます。
4. 基準点を中心にし、幅を変更します。

Word/PowerPoint 用テンプレートをご利用の場合、①～④のガイドは表示されません。  
図を目安にデザイン、レイアウトして下さい

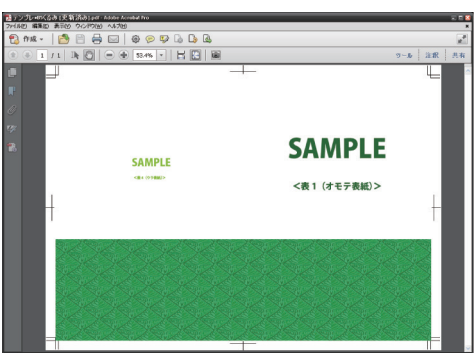
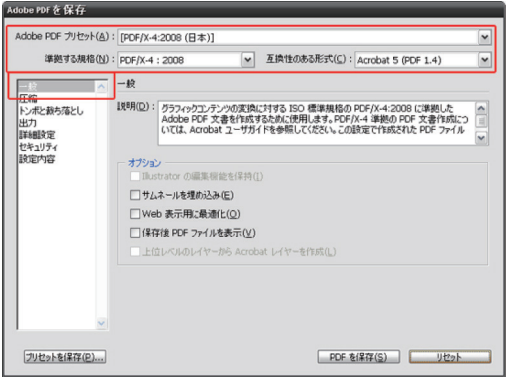
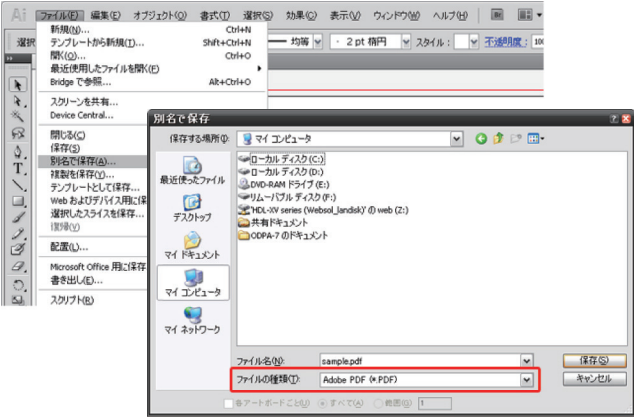
次ページ PDF 入稿にご協力ください

# PDF入稿にご協力ください

書きま帳+ではたくさんのお客さまに低価格でオリジナルノート製作サービスを提供できるよう、お客さまにPDF での入稿ご協力をお願いしています。

## Illustrator の場合

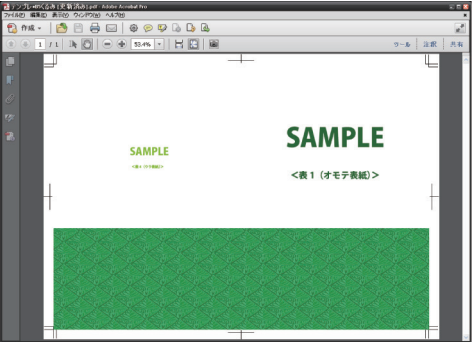
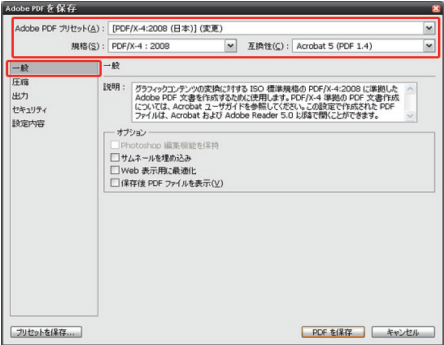
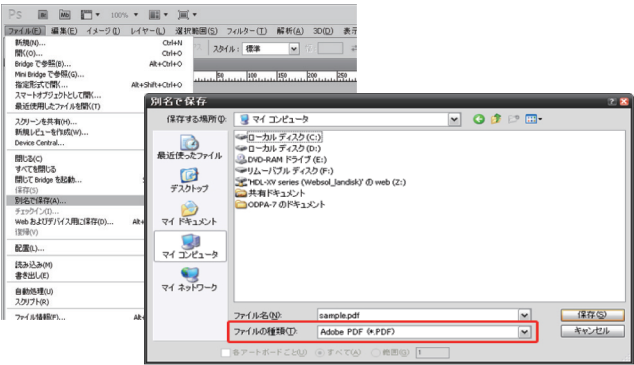
- 1
- ファイルメニューの「別名で保存」から、  
[ファイルの種類] を [Adobe PDF] にして保存
- 2
- [一般] の [Adobe PDF プリセット] から  
[PDF/X-4: 2008] を選択
- 3
- 保存したPDF ファイルを開いて確認します



[PDF/X-4: 2008] が表示されない、  
保存できない場合は、[PDF/X-1a: 2001] で保存してください

## Photoshop の場合

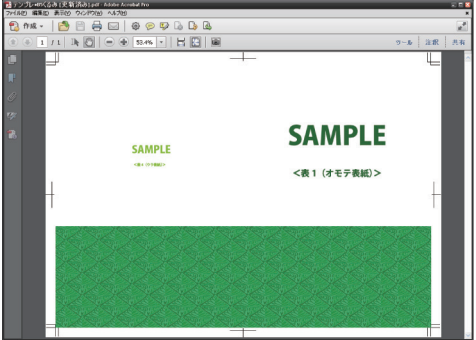
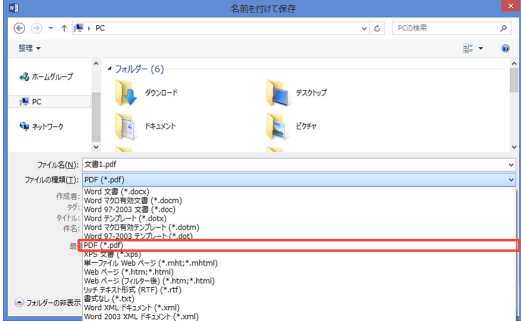
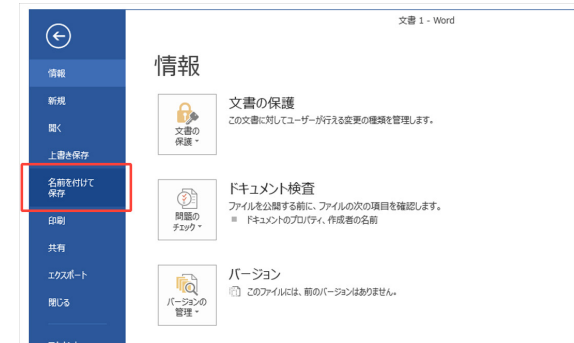
- 1
- ファイルメニューの「別名で保存」から、[ファイル  
の種類] を [Adobe PDF] にして保存
- 2
- [一般] の [Adobe PDF プリセット] から  
[PDF/X-4: 2008] を選択
- 3
- 保存したPDF ファイルを開いて確認します



[PDF/X-4: 2008] が表示されない、  
保存できない場合は、[PDF/X-1a: 2001] で保存してください

## Word/PowerPoint の場合

- 1
- メニュータブから、[名前を付けて保存] を選択
- 2
- ファイルの種類を、[PDF(\*.pdf)] に設定し、  
保存する
- 3
- 保存したPDF ファイルを開いて確認します



※Microsoft Office 2007 をお使いの方はこちらを参照してください。  
<http://www.gappri.jp/cont6-1-3-1.php>